

2013 年度(2014 年 1 月～2014 年 3 月*)

公衆衛生看護学分野 業績

1. 分野構成(2014 年 4 月 1 日時点) *2014 年 1 月分野新設

教授:大森純子、助教:田口敦子、研究補佐員 1 名、卒業研究生 7 名

2. 主な研究テーマ

米国の公衆衛生領域で主流となっている(CBPR:Community Based Participatory Research)という研究スタイルを用い、保健師など保健行政の関係職種や住民の方々と一緒に、「地域への愛着」を育む健康増進プログラムの開発、「近隣住民間の交流促進プログラムの開発」などに取り組み、個人変容と社会変容に参画しています。また、住民ボランティアと保健行政の関係職種がどのように協働していけばよいかについても探索しています。

【主な研究テーマ】

- ・文化と健康観・ヘルスプロモーションに関する研究
- ・地域への愛着と健康に関するプログラム開発
- ・行政と住民ボランティアの効果的な協働方法および評価に関する研究

3. 主な研究業績(2008 年 4 月以降)

【主な研究論文】

- ・大森純子, 小林真朝, 小野若菜子, 麻原きよみ. コミュニティアセスメントの実践的演習の成果. 聖路加看護大学紀要. 2014; 40: 105-11.
- ・大森純子. 原発事故復興期における放射線防護文化の形成 —保健師の立場から—. 医療放射線防護. 2014; 68: 58-62.
- ・大森純子. リスクコミュニケーションの向こう側 —放射線防護からはじまる健康文化の形成—. 医療放射線防護. 2014; 69: 33-36.
- ・大森純子, 小西恵美子, 麻原きよみ. 健康課題としての放射線防護 保健師による実際的な活動モデルに向けて・3 保健師の実践へのヒント①:ベラルーシ視察報告から学ぶ. 保健師ジャーナル. 2014; 70(7): 626-30.
- ・Taguchi A, Nagata S, Naruse T, Nagata S, Yamaguchi T, Murashima S. Identification of the need for home visiting nurse: development of a new assessment tool. International Journal of Integrated Care 2014; 14.

【主な著書】

- ・大森純子. 質的心理学フォーラム選書 1 インタビューという実践. 斎藤清二, 山田富秋, 本山方子, ed. 新曜社:東京;2014.
- ・大森純子. 公衆衛生看護学テキスト 2 公衆衛生看護技術. 佐伯和子, ed. 医歯薬出版:東京;2014.
- ・田口敦子, 永田智子, 村嶋幸代(分担執筆). 在宅高齢者を支える—医療・介護・看取り—. Advances in Aging and Health Research 2013. 長寿科学振興財団:愛知;2014.

【主な学会発表】

- ・三森寧子, 高橋和子, 大森純子, 酒井太一, 齋藤美華, 小林真朝, 小野若菜子, 安齋ひとみ, 宮崎紀枝, 戸田亜紀子, 三笠幸恵. 向老期世代の“地域への愛着”を測定する尺度の開発(第 3 報) —健康関連 QOL との関連性—. 第 2 回日本公衆衛生看護学会学術集会, 2014 January 12-13, 101, 小田原.
- ・酒井太一, 大森純子, 高橋和子, 三森寧子, 齋藤美華, 小林真朝, 小野若菜子, 宮崎紀枝, 安齋ひとみ, 戸田亜紀子, 三笠幸恵. 向老期世代の“地域への愛着”を測定する尺度の開発(第 1 報) —“地域への愛着”尺度項目の検討—. 第 2 回日本公衆衛生看護学会学術集会, 2014 January 12-13, 101, 小田原.
- ・高橋和子, 大森純子, 酒井太一, 三森寧子, 齋藤美華, 小林真朝, 小野若菜子, 安齋ひとみ, 宮崎紀枝, 戸田亜紀子, 三笠幸恵. 向老期世代の“地域への愛着”を測定する尺度の開発(第 2 報) —関連要因の検討—. 第 2 回日本公衆衛生看護学会学術集会, 2014 January 12-13, 101, 小田原.
- ・麻原きよみ, 荒木田美香子, 大森純子, 小野若菜子, 川崎千恵, 小西恵美子, 小林真朝, 三森寧子. 放射線防護文化の視点から保健師の放射線教育を考える. 第 2 回日本公衆衛生看護学会学術集会, 2014 January 12-13, 101, 小田原